



開講した就職教育講座

# 地道な研究に 科研費続々と

金沢学院短期大学、金沢学院大学で平成十九年度分の文科省科学研究費の獲得が相次ぎ、総額五百八十七万円に達しました。

短大では、岡島厚学長補佐が「実用プラント配管内構造物の流力振動評価と学会基準・指針の総括的検討」

短大の粟津原理恵食物栄養学科講師は「ソバ食品の

調理性および抗酸化性に対するルチン・タンパク質複合体の影響」の研究で、島記念食品科学振興財団から平成十八年度学術研究助成金として四百六十万円を獲得しました。

# まず公務員試験に理解 大学 就職教育講座スタート

金沢学院大学の三年生を対象に一年間にわたって就職に向けた指導を行う就職教育講座が四月から開講しました。オリエンテーション、ガイダンス、アンケートに続いて二十七日からの共通講座で本格的な講義が始まり、参加した学生は、まず公務員の採用試験について理解を深めました。

察官の採用試験（一次、二次）について説明しました。また、歴史、法律、経済、数学などの例題を挙げて、出題傾向を解説しました。

就職教育講座は来年一日未まで毎週金曜日に開講し、インターネット登録、新規の見方、職業と適性、地域産業、ハローワーク、職業人意識、一般常識問題、マナーなどを学び、卒業生や内定者の話も聞いて、就職活動開始に備えます。

金沢学院東高校の三年生二百三十四人が五月七日、金沢学院大学・短期大学を見学し、来春の主張校決定に向けて、学部学科の説明、先輩学生の話に耳を傾けました。

# 志望校決定に向けて

## 東高3年生 学院大・短大を見学



先輩の話を聞く東高校3年生 = 6号館

このうち美術文化学部では十三人が山口征三学部長代理と学生二人の説明を聞き、美術工芸、情報デザイン、文化財学科の制作、分析の授業やスタジオを見学しました。文学部では言語表現論や心理学、経営情報学部では経営管理などの授業見学が行われました。

**能登地震義援金** 26万円  
能登半島地震の被災地へ  
送るため学内で学生・教職  
員から寄せられた義援金は  
二十六万八千円となりまし  
た。五月十一日に金沢学院  
大学・短期大学学友会会長  
が北國新聞社を訪れ、寄託  
します。

A classroom scene showing several students working at their desks. A teacher stands near the chalkboard in the background. The students are focused on their work, with one girl in the foreground looking towards the camera.

訪れたのは石川県国際交流協会の日本語研修プログランムで来日した米ワシントン&リード大学とカナダ・モントリオール大学の学生計十三人です。グループ懇談"写真左"では、学校生活をはじめ趣味や生活、文化などについて意見を出し、互いに理解を深めました。

# 米加の大学生と交流会

で各百二十万円の科研費を交付されました。

発行・広報室